



Sharpdesk Mobile® V2.5 操作マニュアル iOS 版

目次

1	概要	3
2	使用上の注意	4
3	インストールと起動	5
4	各種設定	6
4.1	プリンター/スキャナーを設定する	6
4.1.1	検索して自動登録する	6
4.1.2	手動で登録する	7
4.1.3	プリンター/スキャナーの一覧を操作する	8
4.2	ユーザー情報の設定	10
4.3	アプリケーションの動作設定	11
4.4	メールの設定	12
5	取り込む	13
5.1	端末からスキャナー操作を行う	14
5.2	スキャナーの操作パネルから操作を行う	17
6	印刷する	19
6.1	暗号化 PDF ファイルを印刷する	23
7	メールに添付する	24
8	アプリケーションに送る	25
9	ファイルを管理する	26
9.1	ファイル/フォルダーの並び替えを行う	26
9.2	ファイル/フォルダーを検索する	26
9.3	ファイルをプレビューする	27
9.4	ファイル/フォルダーの名前変更/移動/削除	27
9.5	フォルダーを作成する	28
10	Wi-Fi 設定を追加する	29
11	他のアプリケーションから印刷する	30

1 概要

本製品は、

- お使いのデジタル複合機でスキャンした文書をモバイル端末(以降「端末」と表記)で受信(取り込み)、プレビュー、保存
- 端末に保存した文書データや写真、受信したメール、閲覧した Web ページをデジタル複合機で印刷
- デジタル複合機から取り込んだデータをメールに添付して送信、他のアプリケーションと連携して活用できるアプリケーションです。



2 使用上の注意

- 画面デザイン等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本アプリケーションの動作環境について、最新情報は、下記の弊社 Web サイトをご覧ください。
https://jp.sharp/business/print/solution/mobile/sharpdesk_m.html
- お使いの端末は無線ネットワークに接続されている必要があります。
- 本アプリケーションは、以下のファイルフォーマットをサポートしています。
 - JPEG、TIFF、PNG、PDF(高圧縮 PDF、暗号化 PDF も含む)、Office Open XML ファイル(以降「OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)」と表記)
(注) OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)の印刷は対応機種に限られます。
 - 本アプリケーションで扱うことができるファイルのファイル名の最大文字数は 200 文字です。
 - 一部のファイルフォーマットにおいて、プレビューやサムネイル表示ができない場合があります。

フォーマット		表示可否
暗号化 PDF		×
暗号化されていない PDF	当社製スキャナー(スキャンアクセサリキットを含む)でスキャンした PDF	○*
	上記以外	△
TIFF		○
JPEG		○
PNG		○
OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)		×

○…プレビュー、サムネイルとも表示可。プレビューの回転可。

△…プレビューは表示可、サムネイルは表示不可。プレビューの回転不可。

×…プレビュー、サムネイルとも表示不可。

*…高圧縮 PDF／黒文字重視 PDF は、A4／レターサイズを超えるファイルはプレビューの回転不可。

- 本書では、iPad の横長の画面での操作を想定して説明しています。お使いの端末の OS バージョンによっては、端末の設定の文言が異なる場合があります。
- 本アプリケーションは、デジタル複合機の検索、デジタル複合機からのスキャンデータの受信、デジタル複合機への印刷に、Bonjour、SNMP、FTP、HTTP、Raw を使用しています。

3 インストールと起動

お使いの端末に、本アプリケーションをインストールし、起動します。

- ① App Store からインストールします。アプリケーションのカテゴリ名は「ユーティリティ」、キーワードは「Sharpdesk Mobile」と指定することにより検索できます。
- ② インストール後本アプリケーションを起動します。
スプラッシュ画面が表示された後、初回起動時のみソフトウェア使用許諾が表示されますので、同意される場合は、「同意する」ボタンを押してください。
(注) 同意されない場合は、本アプリケーションを使用できません。
(注) 一度「同意する」ボタンを押した後は、本アプリケーション起動時にソフトウェア使用許諾は表示されません。
- ③ TOP メニュー画面が表示されます。
(注) iPad でアプリケーションを起動した際、利用できるスキャナーの登録が無い場合には、ポップアップメッセージにて利用できるスキャナーが無い旨表示されます。

(注) 本アプリケーションをアンインストールするには、お使いの端末のユーザガイドをご参照ください。

4 各種設定

「設定」ボタンをタップすることにより、本アプリケーションの各種設定を行います。

4.1 プリンター/スキャナーを設定する

本アプリケーションから印刷を行ったり、本アプリケーションにスキャンデータを取り込んだりするためには、プリンター/スキャナーを登録する必要があります。

ローカルネットワークに接続されているプリンター/スキャナーを登録するには、検索を行い自動登録します。

ローカルネットワークに接続されていないプリンター/スキャナー、もしくは検索により自動登録できなかったプリンター/スキャナーは、手動で登録します。

4.1.1 検索して自動登録する

「リストを自動で更新する」をタップします。ネットワーク上のプリンター/スキャナーが自動的に検索されます。

(注) 自動的に検索されるのは、お使いの端末が接続されているネットワークの同じセグメント上に限られます。お使いの端末と異なるセグメントにあるプリンター/スキャナーをお使いの際は、「手動で登録する」(次節参照)で追加してください。

検索されたプリンター/スキャナーが一覧表示されます。

プリンター/スキャナーから取得した「製品名」と「設置場所」もしくは「IP アドレス」を、「製品名(設置場所)」もしくは「製品名(IP アドレス)」の形式で上部に表示し、IP アドレスを下部に表示します。

(注) 「製品名(設置場所)」もしくは「製品名(IP アドレス)」のどちらを表示させるかについては、「アプリケーションの動作設定」(4.3 節参照)で設定できます。

(注) プリンター/スキャナーから取得した「製品名」に含まれる「SHARP」は表示されません。

4.1.2 手動で登録する

「手動で追加する」をタップします。登録したいプリンター/スキャナーに関する以下の項目が設定できます。
設定が完了したら、「保存」をタップして設定を保存します。

項目	説明
名称	プリンター/スキャナーの名称を入力します。 (注) 名称を入力しない場合は、IP アドレスが名称として設定されます。項目「IP アドレス」で入力されたアドレスが接続可能であれば、プリンター/スキャナーに設定された「製品名」「設置場所」を取得し、「アプリケーションの動作を設定」の「名称設定方法」に従って名称が設定されます。
製品名	登録するプリンター/スキャナーの製品名を入力します。 (注) 製品名を入力しない場合は、項目「IP アドレス」で入力されたアドレスが接続可能であれば、プリンター/スキャナーに設定された「製品名」の取得を試みます。
IP アドレス	プリンター/スキャナーの IP アドレスを入力します。この項目は、必ず入力する必要があります。 (注) すでに手動で登録されている IP アドレスは入力できません。
ポート番号	プリンター/スキャナーのポート番号を入力します。必ず入力する必要があります。 ポート番号はプリンターに印刷する際に必要となります。プリンターに設定されているポート番号と同じものを用いてください。同じポート番号を設定しない場合は、印刷できません。 プリンター側のポート番号は、プリンターWeb ページの[ネットワーク設定]>[プリントポート設定]>[RAW]タブで設定されたポート番号です。 初期値は 9100 です。
設置場所	登録するプリンター/スキャナーの設置場所を入力します。 (注) 設置場所を入力しない場合は、項目「IP アドレス」で入力されたアドレスが接続可能であれば、プリンター/スキャナーに設定された「設置場所」の取得を試みます。
このプリンター/スキャナーを選択	「オン」にすると、「取り込む」および「印刷する」機能使用時に、初期値としてこのスキャナー/プリンターが選択されている状態となります。 (注) 「アプリケーションの動作を設定」で、「プリンター/スキャナー自動選択」が「オン」の場合は設定できません。

4.1.3 プリンター/スキャナーの一覧を操作する

登録されたプリンター/スキャナーの一覧を操作したり、各プリンター/スキャナーの情報を表示・編集したりすることができます。

自動更新で登録されたプリンター/スキャナーは、 アイコンが先頭に表示されます。

手動で追加されたプリンター/スキャナーは、 アイコンが先頭に表示されます。

プリンター/スキャナーの情報を表示/編集する

- ① 情報を表示したいプリンター/スキャナー名をタップします。
- ② 選択されたプリンター/スキャナーの情報が表示され、編集が可能となります。項目は、前節の「手動で登録する」をご参照ください。
(注) 自動更新で登録されたプリンター/スキャナーについては、IP アドレスは編集できません。
手動で登録されたプリンター/スキャナーについては、製品名、および設置場所は編集できません。

端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合、「スキャナーの動作設定」では、以下の項目の設定を編集できます。

「保存」をタップして、設定を保存します。

項目	説明
端末からスキャナー操作を行う	「オン」にすると、「取り込む」機能を使用する際に、本アプリケーションでスキャン操作を行います(5.1 節参照)。
表示名	スキャナーが原稿セット待ち状態になった際に、そのスキャナーと接続している端末を確認するために、確認コードと合わせてスキャナーと端末の双方に表示されます。
確認コードを自動で生成	「オン」にすると、確認コードを本アプリケーションが自動で生成します。 「オフ」にした場合、「確認コード」に確認コードを入力してください。
確認コード	スキャナーが原稿セット待ち状態になった際に、そのスキャナーと接続している端末を確認するために、表示名と合わせてスキャナーと端末の双方に表示されます。
スキャナーの読み取り設定をリセット	タップすると、「取り込む」機能を使用する際に設定したスキャン設定の値を初期値に戻します。

プリンター/スキャナーの並び順を変更する

プリンター/スキャナーの一覧表示画面から「編集」をタップし、並び順を入れ替えたいプリンター/スキャナーの右側に表示される  を長押しします。

長押しすると、そのプリンター/スキャナーが移動可能になりますので、指を触れたまま上下に移動し順番を変更します。

プリンター/スキャナーを削除する

プリンター/スキャナーの一覧表示画面から「編集」をタップし、削除したいプリンター/スキャナーの左側に表示される  をタップすると、「削除」ボタンが表示されますので、タップします。

削除したプリンター/スキャナーは、「リストを自動で更新する」または「手動で追加する」(4.1 節参照)で再度追加することができます。

4.2 ユーザー情報の設定

本アプリケーションをお使いになるユーザーに関する設定を行うための情報を登録します。

以下の項目が設定可能です。設定が完了したら「保存」をタップして設定を保存します。

プロフィール情報: 「取り込む」(5 章参照)操作においてスキャナーに宛先を登録するための情報を設定します。	
項目	説明
表示名	スキャナー側でアドレス帳一覧に表示される表示名を設定します。初期値は、端末本体の「設定」>「一般」>「情報」で設定された「名前」です。
検索文字	スキャナーの宛先表示の際にソートキーとして使用されます。
ユーザー認証: ユーザー認証を行っているプリンターを使用して印刷する際に必要な情報を設定します。	
項目	説明
認証にログイン名を使用する	プリンターのユーザー認証にログイン名を使用している場合はこちらを選択します。以下の「ログイン名」と「パスワード」を設定します。
	ログイン名
	パスワード
認証にユーザー番号を使用する	プリンターのユーザー認証にユーザー番号を使用している場合はこちらを選択します。以下の「ユーザー番号」を設定します。
	ユーザー番号
デフォルトジョブ ID: この項目を設定すると、プリンターの操作パネル上に表示する[ユーザー名]および[ジョブ名]に関して、このタブで設定した値をそのまま使用します。	
項目	説明
ユーザー名にログイン名を使用する	「オン」にすると、プリンター本体の操作パネル上に表示される[ユーザー名]が「ユーザー認証」設定(上記)の「ログイン名」に固定されます。
ユーザー名	プリンター本体の操作パネル上に表示される[ユーザー名]の初期値を設定します。 設定しない場合には、「SharpdeskM User」を使用します。 (注) 「ユーザー名にログイン名を使用する」を「オン」にした場合、ユーザー名は入力できません。
ジョブ名	プリンター本体の操作パネル上に表示される[ジョブ名]の初期値を設定します。 設定しない場合には、印刷されるファイルのファイル名を使用します。

4.3 アプリケーションの動作設定

本アプリケーションの動作を設定します。

以下の項目が設定可能です。「保存」をタップして設定を保存します。

取り込みの設定:	
項目	説明
プロファイルの自動削除	スキャン後に、スキャナー側に宛先を残したくない場合は、「オン」にしてください。
プロファイルの強制上書き	「オン」にすると、スキャンを行う際に、スキャナー側に前回登録した宛先が残っている場合、上書きを行うか否かを確認せずに宛先を上書きします。
印刷の設定:	
項目	説明
高品質で印刷する	「オン」にすると、印刷する際、画質品質を重視して印刷します。
他アプリから受けたファイルを残す	「オン」にすると、本アプリケーションで印刷するために他アプリケーションから受けたファイルを、内部メモリーに保存します。
ジョブ送信のタイムアウト(秒)	印刷ジョブをプリンターに送信する際のタイムアウト時間を設定します。60 秒から最長 300 秒まで設定できます。初期値は 60 秒です。
リテンション設定	印刷データをプリンター内に保存し、必要なときにプリンターの操作パネルから印刷できます。「印刷せずにホールド」を「オン」にしてください。保存されたデータの印刷方法は本体の操作マニュアルをご覧ください。 また、「パスワードを指定」を「オン」にすると、パスワード(5～8桁の数字による暗証番号)の指定により、保存されたデータの機密性を高めることができます。パスワード設定時、プリンターから保存されたデータを印刷するときはパスワードの入力が必要となります。 ここでの設定が、印刷設定(6章参照)の初期値になります。 (注) 暗号化 PDF については、リテンションは指定できません。6.1 節記載の手順により機密性の高い印刷が可能です。 (注) 一部のプリンターではご利用できません。
共通設定:	
項目	説明
プリンター/スキャナー自動選択	「オン」にすると、接続する無線ネットワーク(SSID)に応じて、初期値として選択されるプリンター/スキャナーが自動的に切り替わります。
名称設定方法	プリンター/スキャナーの一覧に表示される名称を設定します。「製品名(設置場所)」もしくは「製品名(IP アドレス)」が設定できます。
SNMP 設定: お使いのネットワークの SNMP Get コミュニティの設定に関しては、管理者にお尋ねください。	
項目	説明
public で検索する	SNMP Get コミュニティを初期値から変更しているネットワークでご使用になる場合、「オフ」にしてください。
Community String	ネットワークでご使用になっている値を設定してください。最大 10 件まで登録できます。

4.4 メールの設定

本アプリケーションを用いてメールを印刷する(6 章参照)ためのメールアカウント情報を設定します。

以下の項目が設定可能です。「保存」をタップして設定を保存します。

メールアカウント	
項目	説明
アカウント名	メールサーバーにログインするためのアカウント名を設定します。 パスワードが設定されている場合は必ず入力する必要があります。
パスワード	メールサーバーにログインするためのパスワードを設定します。
メールサーバー設定: メールサーバーの管理者にお尋ねください。 (注) メールサーバーは IMAP4 をサポートしている必要があります。	
項目	説明
ホスト名	メールサーバーのホスト名を設定します。
ポート番号	メールサーバーのポート番号を設定します。必ず入力する必要があります。 初期値は 143(「SSL」が「オン」の場合は 993)です。
SSL	メールサーバーへの接続時に SSL 認証を行う場合は「オン」にする必要があります。
接続テスト	上記の設定で、メールサーバーへ接続テストを行うことができます。テストの結果はダイアログで表示されます。
取得件数	
項目	説明
10/30/50/100	メール一覧画面で表示するメールの取得件数を設定します。
デフォルトのフィルタリング設定	
項目	説明
全て/未読のみ/今日のメール /30 日以内のメール	メール一覧画面で表示するメールの絞り込みを設定します。

5 取り込む

指定のスキヤナーで文書(原稿)をスキャンし、本アプリケーションに取り込みます。

「スキヤナー」の下ボタン(iPhone では「スキヤナー: (スキヤナー名)」ボタン)をタップすることにより、原稿のスキャンに用いるスキヤナーを変更できます。

プリンター/スキヤナーの一覧(4.1.1 節)で、が表示されているスキヤナーが初期値として選択されています。

以降の操作は、選択したスキヤナーによって異なります。

端末からのスキヤナー操作機能に対応したスキヤナーを選択した場合は 5.1 節を、それ以外のスキヤナーを選択した場合は 5.2 節をご参照ください。

5.1 端末からスキャナー操作を行う

端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合は、本節の操作方法で原稿を取り込むことができます。対応スキャナーについては、弊社 Web サイト(URL は 2 章に記載)をご覧ください。

取り込む原稿をスキャナー側でセットする以外は、すべて本アプリケーション側で操作を行います。

(注) 本操作を行う前に、スキャナーの操作パネルにホーム画面が表示されている(もしくは、ユーザー認証画面になっている)ことを確認してください。スキャナーにおいて外部アカウント管理が有効となっている場合、もしくはユーザー認証前の本機能の使用が禁止されている場合は、ユーザー認証を行った後、ホーム画面を表示してください。上記以外の画面が表示されている場合は、本操作ができません。

- ① 端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合、現在のスキャン設定状態と、設定メニューが表示されます。

(注) 設定メニューの「端末からスキャナー操作を行う」を「オフ」にした場合、スキャナー側で操作を行う従来の方法で原稿を取り込むことができます。以降の操作方法については、5.2 節をご参照ください。

以下の項目が設定可能です。

iPhone をお使いの場合、各項目において「保存」をタップすることにより設定を保存します。

iPad をお使いの場合、各項目は自動的に設定を保存します。

項目	サブ項目	説明
カラーモード		原稿の色の読み取り方法(自動/フルカラー/グレースケール/白黒 2 値)を設定します。初期値は「自動」です。 (注) 「原稿」の「原稿サイズ」で「長尺」を指定した場合は、「白黒 2 値」以外の設定はできません。
原稿	原稿サイズ	初期値は「自動」に設定されていますが、定型サイズ以外の原稿(インチ系のサイズや不定型サイズの原稿)をセットしたときや、原稿サイズが正しく検知されなかったときに手動で指定します。
	現在の検知サイズ(表示のみ)	お使いのスキャナーに原稿をセットすると、そのサイズが自動検知され、表示されます。
	保存サイズ	スキャナーがお使いの端末に送信する(お使いの端末に保存する)スキャンデータのサイズを設定します。「原稿サイズ」と異なるサイズを指定すると、自動的に画像を拡大/縮小して送信します。初期値は「自動」です。 (注) 「原稿サイズ」において、長尺/はがき/名刺/L 判/2L 判/カード/カスタムサイズのいずれかを選択した場合、「自動」以外の選択はできません。
	カスタムサイズの登録	定型サイズ以外のサイズの原稿をスキャンする際に、名前を付けてあらかじめサイズを登録しておくことができます。最大 5 種類のカスタムサイズが登録できます。
	画像セットの方向	セットした原稿の画像と同じ向きを選択します。原稿の向きと同じ、または原稿を 90 度回転のどちらかを選択できます。初期値は原稿の向きと同じです。

項目	サブ項目	説明
両面		スキャンする原稿の片面/両面の読み込み方法に関する設定を行います。 片面、両面原稿 よことじ、両面原稿 たてとじが選択できます。初期値は「片面」です。
フォーマット	カラー	iOS 版をお使いの場合、「カラー/グレースケール」「白黒」の選択ボタンとなります。 読み込み時のフォーマットモード(カラー/グレースケール、または白黒)を選択します。
	ファイル形式	スキャンを行う際のファイル形式を選択します。 「カラー」で「カラー/グレースケール」を選択した場合は、PDF、PDF/A-1b^{*1}、TIFF、JPEG が選択できます。 「白黒」を選択した場合は、PDF、PDF/A-1b^{*1}、TIFF のみ選択できます。
	高圧縮 PDF のタイプ	「カラー」で「カラー/グレースケール」を選択し、「ファイル形式」で「PDF」または「PDF/A-1b」^{*2}を選択した場合のみ設定が可能です。 スキャンを行う際の高圧縮 PDF のタイプ(なし/高圧縮/高圧縮高精細)を選択します。 (注) スキャナーにスキャナー機能拡張キットを装着している場合のみ設定が可能です。
	圧縮率	「カラー」で「カラー/グレースケール」を選択した場合のみ設定が可能です。 スキャンを行う際の画像の圧縮率(低圧縮/中圧縮/高圧縮)を選択します。「ファイル形式」で「PDF」または「PDF/A-1b」^{*2}を選択した場合、黒文字重視でのスキャンが可能なスキャナーでは黒文字重視も選択可能です。
	圧縮形式	「カラー」で「白黒」を選択した場合のみ設定が可能です。 白黒 2 値画像でスキャンを行う際の圧縮形式(圧縮なし/MH(G3)/MMR(G4))を選択します。
	ページ毎にファイル化	「ファイル形式」で「PDF」、「PDF/A-1b」^{*2} または「TIFF」を選択した場合のみ設定が可能です。 チェックボックスをチェックすると、「ページ数」で設定したページ数毎に 1 つのファイルとしてスキャンを行います。
	暗号化	「ファイル形式」で「PDF」を選択した場合のみ設定が可能です。 チェックボックスをチェックすると、暗号化 PDF としてスキャンを行います。「パスワード」に、暗号化 PDF を閲覧するためのパスワードを設定してください。
	OCR	OCR(文字認識)…オン/オフの設定があり、オンの場合には、さらに「言語設定」「フォント」「画像の向き検知」「ファイル名自動抽出」「OCR 精度」の設定が可能となります。 言語設定…OCR 時の言語を設定します。

項目	サブ項目	説明
		フォント…出力フォントを設定します。 画像の向き検知…原稿の向きの検知を行うかどうかを設定します。 ファイル名自動抽出…ファイル名自動抽出を行うかどうかを設定します。 OCR 精度…OCR の精度を改善するための設定を行うかどうかを設定します。「自動」「文字重視」のどちらかを選択します。 (注) OCR に対応したスキャナーについては Web サイト (https://jp.sharp/business/print/solution/mobile/sharppdesk_m.html) をご参照ください。
解像度		スキャンを行う際の解像度について設定します。以下の解像度が設定可能です。 100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi (注) 150dpi でのスキャンに対応していないスキャナーでは、150dpi は選択できません。 (注) 「フォーマット」において「高圧縮 PDF のタイプ」に「高圧縮」または「高圧縮 高精細」を設定した場合は、300dpi 以外の設定はできません。 (注) OCR を設定した場合は、設定値に応じて 300dpi または 400dpi でスキャンされます。
その他の設定	濃度	スキャンを行う際の濃度(自動、文字、文字/印刷写真、印刷写真、文字/印画紙写真、印画紙写真、地図)を選択します。
	濃度レベル	スキャンを行う際の濃度レベル(1～5)を選択します。「濃度」が「自動」の場合は設定できません。
	白紙飛ばし	スキャンを行う際に、原稿に白紙や裏写りページが混在している場合、スキャナーはそれらを自動的に判別し、それらのページを省いてデータを作成します。「Off」「白紙を飛ばす」「白紙と裏写り原稿を飛ばす」が選択できます。
	マルチクロップ	原稿台に置かれた複数の文書をそれぞれ切り出して別々に PDF データを作成します。 (注) マルチクロップに対応していないスキャナーでは設定できません。

*1 一部機種については、PDF/A-1a、PDF/A-1b となります。

*2 一部機種については、PDF/A-1a、PDF/A-1b を選択した場合も設定が可能です。

② 設定が完了したら、「取り込む」をタップします。

③ 端末情報(「表示名」と「確認コード」)を記載したダイアログが表示され、端末はスキャナーの原稿セット待ち状態になります。

- ④ スキャナーの操作パネルに接続端末情報が表示されますので内容を確認し、原稿をセットします。
(注) マルチクロップを設定した場合、原稿は原稿台にセットし、原稿台のカバーを開いた状態で以降のステップを操作してください。
- ⑤ 本アプリケーションから「取り込み」をタップします。
- ⑥ スキャナーは原稿読み込みを開始し、スキャンデータが端末に送信されます。本アプリケーションは受信したデータを取り込みます。
受信したデータが 1 つだけの場合は、そのデータのプレビューが表示されます。複数ページが含まれるデータについては、1 ページ目が表示されます。プレビュー画像の操作については 9.3 節をご参照ください。
データを保存する場合は、「画像を保存する」をタップします。
- ⑦ スキャナーから送られてきたデータには、あらかじめファイル名が付けられていますが、ここで変更することもできます。
必要に応じてファイル名を変更し、「保存」をタップしてファイル名を確定します。
- ⑧ 保存するフォルダーを選択して、「ここに保存」をタップすることにより、そのデータをファイルとして選択したフォルダーに保存します。

受信したデータが複数あった場合は、受信したデータの一覧が表示されます。「保存」をタップし、以降は上記のステップ⑦⑧の操作により、それらのデータをファイルとして選択したフォルダーに保存します。(ステップ⑦において指定したファイル名は、末尾に連番が付加されます。)

(注) 受信したデータの一覧から、内容を確認したいデータをタップして、そのプレビューを表示することができますが、そのデータだけを保存することはできません。

5.2 スキャナーの操作パネルから操作を行う

端末からのスキャナー操作機能に非対応のスキャナーを選択した場合は、本節の操作方法で原稿を取り込みます。

取り込むファイルの解像度やファイルフォーマット、カラーモード等の設定はスキャナーの操作パネルで行います(本節ステップ③をご参照ください)。

(注) 本操作を行う前に、スキャナーの操作パネルにアドレス帳が表示されていないことを確認してください。スキャナーの操作パネルにアドレス帳を表示している場合は、本操作ができないことがあります。

- ① 「取り込む」をタップします。

- ② 「取り込みを行います。」ダイアログが表示されますので「OK」ボタンをタップするとダイアログが表示された後、端末は取り込み待ち状態になります。
- ③ スキャナーに原稿をセットし、「ファクス/イメージ送信(FTP/Desktop)」を選択して、解像度やファイルフォーマット、カラーモード等の設定を行います。アドレス帳から、ステップ②のダイアログに表示された「表示名」と同じ宛先を選択し、「スタート」ボタンをタップしてスキャンを実行します。
- ④ スキャンデータが端末に送信されます。以降の操作は、前節のステップ⑥以降をご参照ください。

6 印刷する

指定のプリンターで、本アプリケーションに保存されているデータや写真、本アプリケーションで閲覧した Web ページやメールを印刷します。

本アプリケーションに保存されているファイルを選択する

お使いの端末の、本アプリケーションが管理するデータ領域に保存されたデータを選択するには以下の操作を行います。

印刷可能なファイル形式は、JPEG、TIFF、PNG、PDF(高圧縮 PDF、および暗号化 PDF を含む)、および OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)です。

(注) DOCX、XLSX、PPTX の印刷可能なプリンターについては Web サイトをご参照ください。

本アプリケーションに保存されているファイルや保存フォルダーが一覧表示されます。ファイルやフォルダーの一覧の操作方法は 9.1 節を、検索方法は 9.2 節をご参照ください。印刷したいファイルをタップします。

- 複数のファイルをまとめて印刷したい場合は、 をタップします。

印刷したいファイルにチェックを入れ、 をタップします。

(注) 複数のファイルはプレビューで表示される順に印刷されます。複数のファイルを印刷(ジョブ送信)中にエラーが発生した場合、それまでのファイルのみが印刷されます。

写真を選択する

お使いの端末の、「写真」または「写真アルバム」に保存された写真を印刷します。

印刷可能なファイル形式は JPEG、TIFF、PNG です。

(注) 本アプリケーションによる「写真」へのアクセスを許可する必要があります。[設定]>[プライバシー]>[写真]を開いてリストされたアプリケーションから「Sharpdesk Mobile」を探し、「オン」にしてください。

保存されている写真が一覧表示されます。印刷したい写真を 1 枚または複数枚タップし、「完了」をタップすることにより、印刷する写真が選択されます。

(注) 端末の空きメモリーが少ない場合は写真が表示されません。

Web ページを印刷する

本アプリケーションの Web ブラウザーで表示した Web ページを印刷します。

(注) Web ページを表示するには、インターネットに接続されている必要があります。

本アプリケーションの Web ブラウザーが起動しますので、閲覧したい Web ページの URL(アドレス)を入力し、ページが表示されたら「選択」をタップします。

メールを印刷する

本アプリケーションで閲覧したメールを印刷します。

(注) メールを閲覧するには、インターネットに接続されている必要があります。

(注) 本アプリケーションでは、メールは送信できません。

設定したメールサーバーに保存されたメールが一覧表示されますので、表示したいメールをタップします。

- 、 をタップすると、表示させるメール一覧の取得件数の設定や取得するメールの絞込みができます。

選択したメールの内容が表示されます。

初期状態では、メールに添付された画像は表示されません。表示するには、 をタップしてください。

選択したメールを印刷する場合は  をタップします。

メールの添付ファイルを印刷する

メール閲覧画面で、 をタップします。

「添付ファイルを印刷する」画面が表示されるので、印刷したいファイルをタップします。

- リストから複数選択したい場合は、以下の手順で操作してください。
 - 1) 左下の  をタップします。
 - 2) リストの左側にチェックボックスが表示されるので、選択したいファイルにチェックを付け、右下の  をタップします。

(注) 複数のファイルは選択した順に印刷されます。複数のファイルを印刷(ジョブ送信)中にエラーが発生した場合、エラーが発生する前までのファイルのみが印刷されます。

印刷するファイル(写真、Web ページ、メール、メールの添付ファイル)の選択が完了すると、ファイルのプレビューと印刷設定メニューが表示されます。プレビュー画像の操作については 9.3 節をご参照ください。

-  をタップしてファイルを追加することもできます。

(注) 複数のファイルは追加した順に印刷されます。複数のファイルを印刷(ジョブ送信)中にエラーが発生した場合、それまでのファイルのみが印刷されます。

(注) 追加した Web ページやメールは、すでに選択した Web ページやメールに続けて印刷されます。例えば、すでに選択した Web ページやメールが奇数ページの場合、両面印刷を設定すると、追加した Web ページやメールはすでに選択した Web ページやメールの最終ページの裏面から印刷されます。

印刷の設定を行います。以下の項目が設定可能です。

項目	説明
プリンター	印刷したいプリンターを選択します。 プリンター/スキャナーの一覧(4.1.1 節参照)で、  が表示されているプリンターが初期値として選択されています。
部数	印刷したい部数を設定します。1 部～99 部まで指定できます。 (注) プリンターの機種や設定により、複数部印刷に対応していない場合があります。詳細については Web サイト(https://jp.sharp/business/print/solution/mobile/sharpdesk_m.html)をご参照ください。
両面/片面	両面/片面印刷を設定します。「片面印刷」、「両面印刷 よことじ」、「両面印刷 たてとじ」のいずれかを選択できます。 (注) PDF(高圧縮 PDF、暗号化 PDF も含む)、OOXML ファイルのみ指定可能です。
カラーモード	印刷のカラーモードを設定します。「自動」、「カラー」、「グレースケール」のいずれかを選択できます。
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。下記のいずれかを選択できます。 A3 ワイド、A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、レター、リーガル、エグゼクティブ、インボイス、フルスキャップ、8K、16K、DL、C5、COM10、モナーク、はがき、角形 2 号、長形 3 号、洋形 2 号、洋形 4 号 (注) 「はがき」を設定した場合、プリンターは用紙タイプとして「はがき」を設定して印刷します。「DL」「C5」「COM10」「モナーク」「角形 2 号」「長形 3 号」「洋形 2 号」「洋形 4 号」を設定した場合、プリンターは用紙タイプとして「封筒」を設定して印刷します。それぞれの用紙をプリンターにセットしてください。それ以外の用紙をセットした場合は、正しく印刷されなかったり、紙詰まりを起こす場合があります。
用紙タイプ	印刷する用紙のタイプを設定します。下記のいずれかを選択できます。 自動給紙、普通紙、レターヘッド付き用紙、印刷済み用紙、パンチ済み用紙、再生紙、色紙、ラベル紙、厚紙、OHP フィルム (注) 用紙サイズを「はがき」にした場合、自動的に「はがき」が設定されます。
仕上げ	フィニッシャー機能のステープルをする、またはパンチユニット装着時はパンチをすることができます。 ステープルする場合、とじ位置は「左とじ」「右とじ」「上とじ」、ステープルは「なし」「1 箇所とじ」「2 箇所とじ」のいずれかを選択できます。 (注) ステープル機能が搭載されたフィニッシャーが装着されていないプリンターでは表示されません。 パンチする場合、「なし」「あり」が選択できます。 (注) パンチユニットが装着されていないプリンターでは表示されません。

項目	説明
ページ集約	印刷データを縮小して 1 ページ上に複数ページを割り付けて印刷することができます。 (注) シャープ製スキャナー(スキャンアクセサリキットを含む)でスキャンした PDF のみ指定可能です。一部機種では、それ以外の PDF に対しても、用紙サイズが A3、B4、A4、レジャー、レター、リーガルの場合のみ指定可能です。 1-Up(1 ページを 1 ページに割り付け)、2-Up(2 ページを 1 ページに割り付け)、4-Up(4 ページを 1 ページに割り付け)のいずれかが選択できます。 2-Up または 4-Up を選択した場合、割り付けの順序についても設定可能です。2-Up の場合「左から右へ」「右から左へ」が選択できます。4-Up の場合「左上から右方向へ」「左上から下方向へ」「右上から左方向へ」「右上から下方向へ」が選択できます。
印刷範囲	印刷したいページの範囲を設定します。 (注) TIFF、および、シャープ製スキャナー(スキャンアクセサリキットを含む)でスキャンした PDF のみ指定可能です。 全てのページ: 全てのページを印刷します。 範囲指定: 印刷したいページの範囲を指定します。範囲の最初のページと最後のページを指定します。 直接指定: 印刷したいページを直接指定します。カンマで区切って指定するか、ハイフンでページ範囲を指定します。混在も可能です。
印刷対象	OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)のうち、XLSX を印刷する場合に設定可能です。 「選択されたシートのみ」、「ブック全体」のいずれかを選択して印刷します。
リテンション	印刷データをプリンター内に保存し、必要なときにプリンターの操作パネルから印刷できます。「印刷せずにホールド」を「オン」にしてください。保存されたデータの印刷方法は本体の操作マニュアルをご覧ください。 また、「パスワードを指定」を「オン」にすると、パスワード(5～8 桁の数字による暗証番号)の指定により、保存されたデータの機密性を高めることができます。パスワード設定時、プリンターから保存されたデータを印刷するときはパスワードの入力が必要となります。 初期値は「アプリケーションの動作設定」(4.3 節参照)の「リテンション設定」で設定します。 ここでは、印刷時のリテンション設定を個別に変更することができます。 (注) 暗号化 PDF については、リテンションは指定できません。6.1 節記載の手順により機密性の高い印刷が可能です。 (注) 本項目を設定した場合は、プリントリリースの設定はできません。

項目	説明
プリント リリース	プリントリリースをサポートするプリンターを選択した場合のみ有効な設定です。 (注) プリントリリースをサポートするプリンターについては Web サイトをご参照ください。 指定したプリンターで直接プリントするのではなく、プリントリリース機能を用いる場合に指定します。本項目を設定した場合は、リテンションの設定はできません。 プリントリリース機能を用いた本体側の出力操作については、本体の操作マニュアルをご覧ください。

「印刷する」をタップします。

「印刷を行います。」ダイアログが表示されますので、「OK」をタップすることにより、選択されたプリンターで印刷します。

(注) 設定したプリンターに、選択したファイルを印刷するためのオプションが装着されていない場合はエラーが表示されますので、印刷したいプリンターを変更してください。

6.1 暗号化 PDF ファイルを印刷する

暗号化 PDF ファイルを印刷する場合は、プリンター側で以下の操作により出力します。

(注) お使いの機種によっては、操作方法が異なる場合があります。お使いの機種のユーザーマニュアルをご参照ください。

- ① プリンターの操作パネルに、「スプールキューに暗号化 PDF データがあります。」と表示されますので、「OK」をタップします。
- ② 「ジョブ状況」をタップします。
- ③ 「プリント」タブを選択し、「スプール」をタップします。
- ④ 本アプリケーションから送信した暗号化 PDF の印刷ジョブが表示されますので、それをタップして選択し、アクションパネルから、「暗号化 PDF のパスワードを入力する」をタップします。
- ⑤ 「パスワードを入力してください。」ダイアログにパスワードを入力し、「OK」をタップすると、印刷が始まります。

7 メールに添付する

本アプリケーションに保存されているデータをメールに添付します。

(注) あらかじめメールアプリケーションを設定しておく必要があります。

- ① 本アプリケーションに保存されているファイルや保存フォルダーが一覧表示されますので、メールに添付したいファイルをタップします。

ファイルやフォルダーの一覧の操作方法は 9.1 節を、検索方法は 9.2 節をご参照ください。

タップしたファイルのプレビューが表示されます。プレビュー画像の操作については 9.3 節をご参照ください。

複数のファイルを選択する場合は、リストの右上の「編集」をタップして、リストの左側に表示されるチェックボックスをタップします(この場合、プレビューは表示されません)。

- ② 添付するファイルが 1 つの場合、「添付する」(iPhone をお使いの場合、「メールに添付する」)をタップすると、メールアプリケーションが起動します。ファイルが添付された状態のメールが表示されますので、メールを適宜編集し、送信します。

添付するファイルが複数の場合は、アクションボタンをタップします。ファイルを受け取れるアプリケーションの選択メニューが表示されますので、「メールで送信」を選択します。

8 アプリケーションに送る

本アプリケーションに保存されているデータを他のアプリケーションに送ります。

- ① 本アプリケーションに保存されているファイルや保存フォルダーが一覧表示されますので、他のアプリケーションに送りたいファイルをタップします。
ファイルやフォルダーの一覧の操作方法は 9.1 節を、検索方法は 9.2 節をご参照ください。
タップしたファイルのプレビューが表示されます。プレビュー画像の操作については 9.3 節をご参照ください。
複数のファイルを選択する場合は、リストの右上の「編集」をタップして、リストの左側に表示されるチェックボックスをタップします(この場合、プレビューは表示されません)。
- ② 「送る」(iPhone をお使いの場合、「アプリケーションに送る」。複数のファイルを選択した場合はアクションボタン)をタップします。
- ③ このファイルを送ることができるすべてのアプリケーションが表示されます。
このファイルを送りたいアプリケーションをタップするとそのアプリケーションが起動します。

9 ファイルを管理する

本アプリケーションに保存されているファイルや保存フォルダーに対し、以下の管理操作を行うことができます。

- ファイルやフォルダーの一覧
- ファイルやフォルダーの検索
- ファイルのプレビュー
- ファイルやフォルダーの名前変更、移動、削除
- フォルダーの作成

9.1 ファイル/フォルダーの並び替えを行う

ファイルやフォルダーの一覧の左上部には、表示の並び替えを行うボタンが表示されています。

ファイルの表示の並び替えを行うボタンには、現在の表示の基準、および順番が以下のようなアイコンで表示されています。

	タイムスタンプの昇順に並んでいます。		ファイルサイズの昇順に並んでいます。
	タイムスタンプの降順に並んでいます。		ファイルサイズの降順に並んでいます。
	ファイル名の昇順に並んでいます。		ファイルの種類の昇順に並んでいます。
	ファイル名の降順に並んでいます。		ファイルの種類の降順に並んでいます。

ボタンをタップすると、並び替えの基準、および順番を変更できます。基準はタイムスタンプ、ファイル名、ファイルサイズ、ファイルの種類のいずれかが指定でき、順番は△で昇順、▽で降順が指定できます。

9.2 ファイル/フォルダーを検索する

ファイルやフォルダーの一覧の上部に表示されている検索バーに、検索したいファイルやフォルダーの名前(部分でも可)を入力します。入力した名前を含むすべてのファイルやフォルダーが検索結果として一覧表示されます。

検索結果から、さらに詳細を検索するには、検索バーの右側に表示される  ボタンをタップします。検索対象をさらに絞って検索を行います。

項目	説明
サブフォルダーを含める	表示されているフォルダーのサブフォルダーを含めて検索します。
フォルダー	検索対象としてフォルダーを含めます。
PDF	検索対象として PDF 形式のファイルを含めます。
TIFF	検索対象として TIFF 形式のファイルを含めます。
画像ファイル(JPEG、PNG)	検索対象として JPEG 形式、PNG 形式のファイルを含めます。

項目	説明
OOXML ファイル (DOCX、XLSX、PPTX)	検索対象として DOCX 形式、XLSX 形式、PPTX 形式のファイルを含めます。

検索結果の一覧表示から、並び替えボタンによりさらに表示を並び替えることができます。操作方法は前節をご参照ください。

9.3 ファイルをプレビューする

ファイルやフォルダーの一覧から、ファイルをタップすることにより、プレビューを表示することができます。

(注) 端末の空きメモリーが少ない場合はプレビューが表示されません。

プレビュー画像を 2 本の指で触れながら、指の間隔を広げる/狭めると画像が拡大/縮小します。(ピンチアウト/ピンチイン)



ボタンをタップすると、90 度単位で時計回りにプレビュー画像を回転することができます。

(注) 回転した状態で他の操作を行っても、保存された画像の向きは変わりません。

(注) 受信したデータのファイルフォーマット(詳細は 2 章をご参照ください)によっては、プレビューが表示/回転できない場合があります。

複数ページが含まれる PDF や TIFF ファイルについては、上下にスクロールすることにより各ページをプレビューすることができます。

「他アプリで確認」をタップすると、このファイルを表示できるアプリケーションが一覧表示されますので、適宜アプリケーションを選択しプレビューしてください。

9.4 ファイル/フォルダーの名前変更/移動/削除

ファイル/フォルダーの一覧で、右上の「編集」ボタンをタップすると、名前を変更/移動/削除することができます。

一覧表示の左側にチェックボックス、ファイル/フォルダーの一覧の下部にメニューが表示されます。名前を変更/移動/削除したいファイル/フォルダーのチェックボックスをタップします。

ファイル/フォルダーの名前を変更する

(注) 一度の操作で名前の変更が可能なファイル/フォルダーは 1 つのみです。一度に複数のファイル/フォルダーの名前を変更することはできません。

(注) ファイルの拡張子を変更できません。

メニューバーから  をタップします。

ファイル名(フォルダー名)を変更するためのダイアログが表示されますので、新しい名前を入力し、「保存」をタップします。

本アプリケーションを使用してお使いの端末に保存したデータは、本アプリケーションをアンインストールするとお使いの端末から削除されますので、必要に応じてバックアップしてください。詳しくは、お使いの端末のサポートサイトをご覧ください。

ファイル/フォルダーを移動する

メニューバーから  をタップします。

「移動する」ダイアログ(iPhone でお使いの場合は「移動する」画面)が表示されますので、移動先のフォルダーを選択し、「ここに移動」をタップします。

ファイル/フォルダーを削除する

メニューバーから  をタップします。

以下の方法でもファイルを削除することができます。

- 「編集」ボタンをタップせず、削除したいファイルを左へスワイプします。「削除」ボタンが表示されますのでそのボタンをタップするとファイル/フォルダーが削除されます。
- 「ファイルをプレビューする」(9.3 節参照)の操作を行った状態で、「ファイルを削除する」ボタンをタップします。

9.5 フォルダーを作成する

- ① ファイル/フォルダーの一覧表示画面で、フォルダーを作成したい場所まで移動します。
- ② 「編集」をタップしてメニューバーを表示し、 をタップします。
- ③ ダイアログが表示されますのでフォルダー名を入力し、「保存」をタップすると、入力したフォルダー名でフォルダーが作成されます。

10 Wi-Fi 設定を追加する

プリンター/スキャナーの操作パネルに表示した QR コードを読み取り、無線ネットワーク(Wi-Fi)設定情報を取り出して Wi-Fi 構成プロファイルを作成し、そのプロファイルをお使いの端末にインストールします。

(注) プリンター/スキャナーの操作パネルに QR コードを表示させるには、プリンター/スキャナーのファームウェアのアップデートが必要となる場合があります。表示方法はプリンター/スキャナーの操作マニュアルをご覧ください。この方法で表示させた QR コード以外の QR コードを読み取ることはできません。

(注) 本機能の使用にあたり、カメラが起動されます。本アプリに、カメラへのアクセスを許可する必要があります。

TOP メニューから「Wi-Fi 設定を追加する」をタップすると、カメラが起動します。

プリンター/スキャナーの操作パネルに QR コードを表示させ、カメラで QR コードを読み取ります。

読み取りが成功すると、読み取り結果として無線ネットワークの SSID とセキュリティ(暗号化規格)が表示されます。「Wi-Fi プロファイルを作成する」をタップすると、QR コードに含まれる無線ネットワーク接続情報から Wi-Fi 構成プロファイルが作成されます。お使いの端末の設定画面が表示されますので、プロファイルをインストールします。インストール完了後本アプリをお使いになる場合は、設定画面を終了し、本アプリの画面をタップしてください。

追加した Wi-Fi 構成プロファイルは、お使いの端末の[設定]>[一般]>[プロファイルとデバイス管理](お使いの OS バージョンによって異なります)の[構成プロファイル]から確認できます。削除する場合は、対象の構成プロファイルをタップし、「プロファイルを削除」をタップします。

11 他のアプリケーションから印刷する

お使いの端末の他のアプリケーションから、本アプリケーションにデータを送ることにより印刷することができます。

- ① 他のアプリケーションにおいて、印刷したいデータ(JPEG、TIFF、PNG、PDF、DOCX、XLSX、または PPTX ファイル)を開きます。
- ② 他のアプリケーションに送る操作を行います。
アクションボタンをタップするとメニューが開きますので「開く...」をタップします。
- ③ このデータを受け取れるアプリケーションの一つとして”Sharpdesk Mobile”が表示されますので、タップします。
- ④ 以降は、6 章「印刷する」において、ファイルのプレビューと印刷設定メニューが表示された状態(20 ページ)以降と同様の操作で印刷できます。

App Store は Apple Inc.のサービスマークです。
Apple、iPad、iPhone、Bonjour は、米国および他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
iPhone はアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
IOS は米国および他の国で登録された Cisco の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

本アプリケーションは、以下の著作物を含んでいます。

SNMP++ / MailCore 2 / ELCLImagePickerController / MiniZip / CocoaHTTPServer /
CocoaLumberjack / KissXML

PA0256JA-001